

2023年度 大学入門講座一覧

講座No.	講座テーマ	担当教員	ページ
【法学部 提供講座】			
No.1	高校生のための法律入門～成人年齢の引き下げでどうなる？～	伊達 竜太郎	01
No.2	将来の進路を決める場合、どうすれば良いの？	伊達 竜太郎	01
No.3	沖縄の経済政策と法 ～SDGs／ESG時代の企業法・沖縄経済特区・沖縄振興特別措置法など～	伊達 竜太郎	01
No.4	「犯罪と刑罰」から法を考える	小西 由浩	02
No.5	いま、学ぶ意味を考える	佐藤 学	02
No.6	「沖縄のこと」を学ぼう	佐藤 学	02
【経済学部 提供講座】			
No.7	のぞいてみよう、教育「学」の世界	照屋 翔大	03
No.8	学校の未来予想図～みんなが通える学校の条件とは？～	照屋 翔大	03
No.9	経済学的思考のすすめー日常生活を科学(経済学)するー	比嘉 正茂	03
No.10	沖縄経済入門①沖縄の小売業:サンエーの経済学	宮城 和宏	04
No.11	沖縄経済入門②ゲーム理論と行動経済学で考える米軍基地問題	宮城 和宏	04
No.12	賢く生きるための行動経済学入門 ～ダイエットに成功し、貯蓄を増やして、将来成功するための経済学～	宮城 和宏	04
No.13	沖縄における共同(売)店の過去、現在そして将来 ー持続可能な組織のあり方を英国の事例から学び取るー	村上 了太	05
No.14	経営学への誘い	村上 了太	05
No.15	沖縄国際大学キャリア教育科目群の役割	村上 了太	05
No.16	地質学者と過去、現在、未来の気候変動を語る	伊藤 拓馬	06
No.17	エコツーリズムの楽しみ方と環境保全	上江洲 薫	06
No.18	沖縄観光入門① 観光産業	上江洲 薫	06
No.19	沖縄観光入門② 持続可能な観光	上江洲 薫	07
No.20	「地域」と「時代」を映す「感性」の記録としての文学 ーフランスの童話『星の王子さま』をめぐるー	上江洲 律子	07
No.21	主食からみた世界の食文化	小川 護	07
No.22	楽しい地図の利用 ～読図入門～	小川 護	08
No.23	GIS(地理情報システム)入門ーデジタル地図の世界ー	小川 護	08
No.24	パリ協定と海洋圏沖縄のグリーンビジネス可能性	呉 錫畢	08
No.25	沖縄のサンゴ礁はいくらか。ーサンゴ礁の価値から真の豊かさを探るー	呉 錫畢	09
No.26	土の中の生き物と、生態系の話	齋藤 星耕	09
No.27	DNAから調べる生物多様性:自然環境からお腹の中まで	齋藤 星耕	09
No.28	高校生のためのキャリア入門	島袋 伊津子	10
No.29	あなたの飲み水は大丈夫？ ～外国の事例から学ぶPFAS汚染とその対策～	砂川 かおり	10
No.30	島嶼村落における意識行動と環境配慮行動の違い	渡久地 朝央	10
No.31	万人(うまんちゅ)で考える「琉球・沖縄独立論」! ～平和・自由・平等の視点から～	友知 政樹	11

2023年度 大学入門講座一覧

講座No.	講座テーマ	担当教員	ページ
【経済学部 提供講座】			
No.32	カタルーニャにおける市民運動の歴史と成果 ～カタルーニャ独立運動の視点から～	友知 政樹	11
No.33	沖縄から全ての「基地」がなくなったら沖縄経済はどうなるか？	友知 政樹	11
No.34	ゲームの理論で考える環境問題・エネルギー問題	友知 政樹	12
No.35	COVID-19の数理モデル ～SIIRモデル:感染拡大と無発症感染者の役割～	友知 政樹	12
No.36	あんやたん！沖縄の貝 ～貝類利用の移り変わり～	山川 彩子	12
No.37	沖縄島の打ち上げ貝から何がわかる！？	山川 彩子	13
No.38	沖縄県の海岸環境とその役割	山川 彩子	13
No.39	砂浜にあるゴミはどこから来ているのか？ ～沖縄県の海岸ゴミ・漂着ゴミの現状～	山川 彩子	13
No.40	南の海の砂浜は、いったい何からできている？	山川 彩子	14
No.41	沖縄のサンゴ礁漁業 ～電灯潜り漁って何！？～	山川 彩子	14
No.42	沖縄の夏の浜辺の恐怖 ～ハブクラゲについて知ろう～	山川 彩子	14
【産業情報学部 提供講座】			
No.43	はじめての経営学：職務設計と組織づくり	岩橋 建治	15
No.44	アントレプレナーシップの経営学：起業・イノベーション・創造的破壊	岩橋 建治	15
No.45	マック vs. モス ―高校生のための会計入門―（普通高校向け）	清村 英之	15
No.46	決算書を見れば会社の戦略がわかる！ ―任天堂と資生堂―（商業高校向け）	清村 英之	16
No.47	ビジネスを通して社会を知ろう：経営戦略論の視点	城間 康文	16
No.48	沖縄県における中心市街地活性化の課題とこれからの方向性を考える	髭白 晃宜	16
No.49	ウェブテクノロジーとビッグデータが未来を変える ～ビジネス・教育・娯楽・農業・メディア・生活のすべてが変わる～	安里 肇	17
No.50	Google やYahoo!はどうやって儲けているの？ ～インターネット広告のビジネスモデル～	安里 肇	17
No.51	DXはビジネスの未来をどのように変えていくのか？	安里 肇	17
No.52	ゲームを活用した地域振興 ―eスポーツ・位置情報ゲーム―	小渡 悟	18
No.53	バーチャルリアリティで観光体験 ―観光産業でのVRを用いた事例紹介―	小渡 悟	18
No.54	AR(拡張現実感)・MR(複合現実感)による観光サポート	小渡 悟	18
No.55	スクラッチで楽しく作るゲームプログラミング入門	小渡 悟	19
No.56	身の回りのコンピュータ	小渡 悟	19
No.57	ゲームやパズルを通して学ぶコンピュータの基本原則	小渡 悟	19
No.58	デザイン入門 ―デザインのしくみ―	大山 健治	20
No.59	3DCGから広がる世界 ―ゲーム・アニメ・映像―	大山 健治	20
No.60	どちらを選ぶべき？ ～意思決定の科学～	平良 直之	20
No.61	産业内競争の戦略／競争を避けながら競争する企業	中野 謙	21

2023年度 大学入門講座一覧

講座No.	講座テーマ	担当教員	ページ
【産業情報学部 提供講座】			
No.62	豊かさの指標について～持続可能性を考える～	比嘉 一仁	21
No.63	所得が上昇すると、幸せになれる？	比嘉 一仁	21
【総合文化学部 提供講座】			
No.64	琉球芸能に学ぶ(実演・解説・体験)	田場 裕規	22
No.65	伝える技術・伝わる論理 ～志望理由書・自己推薦文の書き方～	田場 裕規	22
No.66	国語学習自由自在 ～大学入試国語のさらに上を～	田場 裕規	22
No.67	古典との対話	田場 裕規	23
No.68	しまくとぅばの文芸作品にふれてみよう	西岡 敏	23
No.69	文学研究入門	村上 陽子	23
No.70	小説創作のための文章教室	村上 陽子	24
No.71	民族とナショナリズム論	石垣 直	24
No.72	文化人類学入門	石垣 直	24
No.73	中国の言語と文化	石垣 直	25
No.74	感染症からみる日本の歴史	市川 智生	25
No.75	なぜ歴史を学ぶのか？ ～覚えられない歴史～	藤波 潔	25
No.76	自分の生き方を考える「キャリア教育」	藤波 潔	26
No.77	入門沖縄の考古学 ー発掘でわかる地域の歴史ー	宮城 弘樹	26
No.78	グスク入門 ー探求！琉球王国グスク及び関連遺産群ー	宮城 弘樹	26
No.79	現代社会と福祉 ～社会福祉の視点から社会を見つめる～	岩田 直子	27
No.80	みなさんのアイドルは誰ですか？ ヒットソングと映画で学ぶ非行と福祉	荻野 太司	27
No.81	もし家がなくなったら？ 避難所運営ゲームで体験する災害と福祉	荻野 太司	27
No.82	統計から学ぶ沖縄県の非行と犯罪	荻野 太司	28
No.83	大人になるってどういうこと？ (青年期の心理学)	片本 恵利	28
No.84	恋愛と結婚の心理学 ～私もパートナーも笑顔になれるヒント～	片本 恵利	28
No.85	「やりたいことが見つからない私」の進路選択	片本 恵利	29
No.86	高校生のための社会福祉講話	知名 孝	29
No.87	わかりやすい福祉の話ー入門編	知名 孝	29
No.88	「サザエさん」から考える家族の「奇々」と「危機」	桃原 一彦	30
No.89	「ヘイトスピーチ」から考える「不安」な時代の処世術	桃原 一彦	30
No.90	子どもの貧困について知ろう ～子どもへの影響とその支援～	比嘉 昌哉	30
No.91	ヤングケアラーって何？～子どもたちの置かれている実態～	比嘉 昌哉	31
No.92	じどうぎゃくたいの現状 ～子どもの権利の視点から考える～	比嘉 昌哉	31
No.93	高校生のための医療ソーシャルワーカーの仕事入門	樋口 美智子	31

2023 年度 大学入門講座一覧

【法学部 提供講座】

No. 1	高校生のための法律入門～成人年齢の引き下げでどうなる？～ 法学部 法律学科 教授 伊達 竜太郎（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	法律を学ぶことは、将来の職業選択をする場合に、「公務員に強い」・「企業に強い」・「資格に強い」と言えます。法律を知ることで、うまく日常生活を過ごすこともできます。 また、皆さんは、部活をやっていますか？ たとえば、バスケやサッカーなどのルールを知らないで、バスケ部などで過ごすのが難しいことと同じく、法律を知らないで、日常生活を過ごすようになるのでしょうか？ この講座では、具体的な事例（成人年齢の引き下げ・契約・結婚・恋愛・会社設立・国際案件など）を想定して、一緒に学んでいきましょう。

No. 2	将来の進路を決める場合、どうすれば良いの？ 法学部 法律学科 教授 伊達 竜太郎（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	皆さん、将来のやりたいことは決まっていますか？将来の選択肢としては、大学・専門学校・就職などでしょうか？ この講座では、大学と専門学校の違い、大学と高校の違い、沖縄国際大学と県内外の他大学との違い、様々な職種（公務員・企業・資格など）、海外留学などについて、ご要望に応じて、お話をします。小・中・高校生の可能性は無限大ですから、できるだけ、進路選択のヒントや道しるべになるようなお話をしたいと思います。

No. 3	沖縄の経済政策と法 ～SDGs／ESG 時代の企業法・沖縄経済特区・沖縄振興特別措置法など～ 法学部 法律学科 教授 伊達 竜太郎（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	この講座では、「沖縄の経済政策と法」というテーマのもとで、日本や海外の動向なども参考にしながら、最近、沖縄で話題になっているトピックについて考えてみたいと思います。 「沖縄の法」というものは、あまり存在していないと言われますが、沖縄独自の法として、沖縄振興特別措置法があり、沖縄経済特区などの沖縄の経済政策の根拠法になっています。 この講座では、SDGs／ESG 時代における企業法・沖縄経済特区・沖縄振興特別措置法の概要から解説し、沖縄北部テーマパーク計画や世界情勢による沖縄への影響などの現代的なトピックも交えつつ、皆さんと情報を共有したいと思います。

2023 年度 大学入門講座一覧

【法学部 提供講座】

No. 4	「犯罪と刑罰」から法を考える 法学部 地域行政学科 教授 小西 由浩（実施方法：対面）
	少年犯罪の現状と少年法の論理、米軍人による事件・事故と日米地位協定の問題、新しく始まった裁判員制度・・・よく新聞やニュースで接する「事件」・「裁判」という問題を素材に「法学的なものの考え方」の一端を紹介できればと思います。

No. 5	いま、学ぶ意味を考える 法学部 地域行政学科 教授 佐藤 学（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	2022 年 11 月 30 日に公開されたチャット GPT は、その後、即座に世界の関心さらっていました。質問に答える機能により、あらゆることをこの「チャットボット」に考えさせ、書かせることが出来るのではないかと、AI が遂に人間を置き換えるのではないかと恐れられてもいます。私たちは、何のために学ぶのか、今こそ考えませんか？

No. 6	「沖縄のこと」を学ぼう 法学部 地域行政学科 教授 佐藤 学（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	私は東京出身でアメリカ生活を経て、沖縄で 21 年間暮らしてきました。それまで沖縄に観光で来たこともなく、沖縄を研究対象にもしておらず、何も知らなかったのが、今では、沖縄出身の学生達に、沖縄の文化、芸能、食べ物、伝統工芸物、伝統工芸等を教える立場になりました。私がどのように「沖縄のこと」を学んできたかを共有します。

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 7	のぞいてみよう、教育「学」の世界 経済学部 経済学科 准教授 照屋 翔大（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	私たちはみな生まれてからずっと教育という営みにかかわってきた経験を持っています。では、教育と教育「学」の違いはなんでしょうか？「学」という言葉がついているのですから、何かしらの違いがあるはずです。教育を学問することは、私たち一人一人の経験に収まり切らない奥深さが存在します。この講座では、皆さんのこれまでの経験や意見を出発点にしながら、教育学の広がりとお奥深さについて、諸外国との比較も交えながら考えてみたいと思います。また、大学で教員になるための道筋や学び、高校生の間に準備しておきたい事柄についてもお話したいと思いますので、ぜひ進路選択に役立ててください。

No. 8	学校の未来予想図～みんなが通える学校の条件とは？～ 経済学部 経済学科 准教授 照屋 翔大（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	私たちは早ければ幼稚園、多くの人は小学校から、学校教育を当たり前のように受けてきました。しかし学校が日本に誕生したのはおよそ 150 年前。性別の違いや障害の有無を問わずにすべての人が学校教育を受けることができるようになったのは、まだ 40 年ほど前です。学校は誰にとっても通うことが「あたりまえ」の時代ですが、通いたくない、あるいは、通いたくても通えないという人たちが増えてきていることも事実です。私たちはなぜ学校に通うのでしょうか？または通わなければならないのでしょうか？今日は学校の歴史と現在の課題を通して、これからの学校の在り方について考えてみましょう。

No. 9	経済学的思考のすすめ 一日常生活を科学（経済学）するー 経済学部 経済学科 教授 比嘉 正茂（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「経済学」という学問について、皆さんはどういうイメージを持っているでしょうか。 株価や金利など、おカネの流れを研究する「難しい学問」と感じている人も多いと思います。もちろん、株価や金利について研究することも経済学の重要なテーマですが、経済学はこうしたおカネの話だけではなく、私達の日常生活（日々の行動）にも密接に関係しています。本講座では、日常生活で遭遇する様々な「身近な話題」を経済学の思考方法を用いて考えていきます。本講座で取り上げるテーマは、「ケーキを公平に切り分ける方法」、「高校生活と経済学」、「夏休みの宿題と借金の関係」、「病院の待ち時間を短くする方法」などです。とにかく難しいイメージがある経済学ですが、身近な話題を経済学的に考えることでそのイメージを払拭してもらいたいと思います。また、本講座を通じて経済学の面白さや経済学的思考の有用性を感じて欲しいと思います。

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 10	沖縄経済入門①沖縄の小売業：サンエーの経済学 経済学部 経済学科 教授 宮城 和宏（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄の代表的な企業であるサンエーを取り上げ、その企業戦略を「規模の経済性」と「範囲の経済性」という 2 つのキーワードを用いて考えます。なぜサンエーはマツモトキヨシやジョイフル、エディオン等のフランチャイズ経営を行うのか、今後も店舗を次々と増やしていけばどうなるのか。今後も高い利益率を維持できるのか等について一緒に考えていきましょう。

No. 11	沖縄経済入門②ゲーム理論と行動経済学で考える米軍基地問題 経済学部 経済学科 教授 宮城 和宏（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄の過重な米軍基地負担の背景には日本本土の沖縄に対する無意識のある意識的な偏見と差別があるのではないかと指摘があります。そうだとすれば、それでは偏見と差別はどのように沖縄の基地負担を固定化し、現状の変化を難しくしてきたのでしょうか？この講座では、沖縄米軍基地の負担を巡る偏見と差別がどのようなメカニズムで生起し沖縄における米軍基地の過重な負担の固定化につながってきたのかについてゲーム理論と行動経済学を知見を用いて一緒に考えていきたいと思ひます。

No. 12	賢く生きるための行動経済学入門 ～ダイエットに成功し、貯蓄を増やして、将来成功するための経済学～ 経済学部 経済学科 教授 宮城 和宏（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	あなたは子どもの頃、夏休みの宿題をきちんと計画通りにできましたか？それといつもギリギリまで放置していましたか？ダイエットの計画を立ててきちんと実行することができますか？いつも計画通りにいかない人は要注意です！今、身近にある誘惑に負けて計画を伸ばし伸ばしにしていけば、いつまでたっても目標を達成することはできません。 この講座では、人間はなぜ今の誘惑に負けてしまうのか、どうしたら今の誘惑を我慢して目標達成できるようになれるのか等について経済学に心理学の知見を加えた新しい経済学である行動経済学を紹介しながら一緒に考えていきたいと思ひます。

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 13	沖縄における共同（売）店の過去、現在そして将来 —持続可能な組織のあり方を英国の事例から学ぶ取る— 経済学部 経済学科 教授 村上 了太（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 沖縄県や鹿児島県には、集落出資の共同店が存在します。〇〇村字□□の□□の方々（全世帯や主要など様々な事例があります）が出資し、経営し、労働する組織です。古くは 1906 年まで遡れるほど、沖縄のユイマールを体現した組織でもあります。 本講座では、いくつかの事例を踏まえながら、諸特徴を比較検討し、将来の姿を考えていくことを目的としています。なお、本土復帰までは、生産、購買、販売、信用などの複数の事業が営まれていましたので共同店と指摘できますが、販売事業に事業が狭められたことから、共同「売」店化していきました。本講座に関連する文献もご紹介させていただきますので、ともに学んでいきましょう。
--------	---

No. 14	経営学への誘い 経済学部 経済学科 教授 村上 了太（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 私たちは、企業となにがしかの形で関係をもって生きていかなければなりません。大学で学ぶ経営学とは企業を対象にした学問ではありますが、決して経営者を育成していくような性格のものではありません。 今回の講座では、理論・政策・歴史という三つの観点から経営学を考えます。また、時間の許す限りですが、具体的な事例を取り上げて経営学の魅力に迫って行きます。
--------	---

No. 15	沖縄国際大学キャリア教育科目群の役割 経済学部 経済学科 教授 村上 了太（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 2014 年度より沖縄国際大学の共通科目に「キャリア教育科目群」が新設されました。本科目群の設置目的は、本学には 1 年間に数百人の退学者・除籍者、さらには数百人の学生が無業者として毎年卒業しているという現実を少しでも改善することにあります。こうした現実の数字をまずは把握し、大学の正課の授業の段階から課題として取り上げ、解決の糸口を見つけ出していきます。本講座もエッセンスとして内容を凝縮しつつ、構成されている科目（キャリア入門、文章表現入門、ジョブインタビュー入門、キャリアデザイン A・B など）の概要、受講生からのアンケート結果、さらには講義計画（シラバス）の改善状況、そして今後の展開策なども説明します。
--------	---

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 16	地質学者と過去、現在、未来の気候変動を語る 経済学部 地域環境政策学科 准教授 伊藤 拓馬（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	現代は、人間活動の影響による地球温暖化が深刻な環境問題のひとつになっています。今後 100 年で最大 5℃も気温が上昇するとの予想があります。人間活動が地球環境に大きな影響を与える時代、これを「人新世（アントロポセン）」とする用語が提案されています。私たちはこんな時代を生活しているのです。今後、地球環境はどうなっていくのでしょうか。それを考えるためには、地球の歴史を正しく理解する必要があります。本講座では、地質学者と過去、現在、そして未来の気候変動を考え、新しい地球観を探索します。

No. 17	エコツーリズムの楽しみ方と環境保全 経済学部 地域環境政策学科 教授 上江洲 薫（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	エコツアーは楽しい。ちょっとツアー代が高いがとても楽しい。でもその値段にも意味があるのだ。エコツアーに参加するとその世界に引き込まれてしまう。 持続可能な観光の一つであるエコツーリズムは、自然環境を保全しつつ地域経済の活性化を目的としており、マスツーリズムの反省のもとに誕生し、地域住民が主体となって関われる比較的新しい観光形態である。また、今回は沖縄とオーストラリアを中心に、ツアー内容やエコリゾートの開発、活性化の取り組み、エコツーリズムの影響（自然・経済・社会的影響）などについて、映像資料などを用いて概説したい。

No. 18	沖縄観光入門① 観光産業 経済学部 地域環境政策学科 教授 上江洲 薫（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄には様々な観光産業がある。この観光産業は沖縄県のリーディング産業と言われ、その他の産業に経済効果が波及している。観光産業では観光客をあたたかく受け入れ、楽しい時間を過ごしてもらえよう何を心掛けているのでしょうか？観光産業はどんな仕事だろうか？観光産業の新たな取り組みには何があるのか？ 本講座では、宿泊施設（ホテル）、運輸業（レンタカー、観光バスなど）、ダイビングサービスなど観光産業を取り上げ、沖縄県における特徴を概説すると共に、その課題を考えたい。

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 19	沖縄観光入門② 持続可能な観光 経済学部 地域環境政策学科 教授 上江洲 薫（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	持続可能な観光（sustainable tourism）は大量観光による観光地の環境や文化、社会などへの影響を避けつつ、自然環境の保全や地域経済への波及効果を高めることが求められる。観光資源である自然環境や文化などを維持しながら観光産業を継続するためには何が必要だろうか？ 持続可能な観光では、だれが主体になるのだろうか？ 本講座ではエコツーリズム、グリーンツーリズムなどを中心に、その特徴を概説すると共に、その課題を考えたい。

No. 20	「地域」と「時代」を映す「感性」の記録としての文学 —フランスの童話『星の王子さま』をめぐる— 経済学部 地域環境政策学科 准教授 上江洲 律子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	作者が属する「地域」や「時代」に限定されることのない「人間の本質」を描き出した作品だけが、「地域」や「時代」を越えて伝えられていきます。しかし、同時に、作品が、作者という個人のフィルターを通して、「地域」や「時代」の在り方を映し出していることも事実です。今回の講座では、フランスの作家サン＝テグジュペリが手掛けた童話『星の王子さま』を取り上げ、そこに見出される「地域」や「時代」について紹介したいと思います。1つの作品から、普遍的な人間性だけではなく、それが生み出された「地域」や「時代」の在り方を汲み取る眼差しをたどってみましょう。ある「時代」の「地域」を理解するための1つの力となるかと思います。

No. 21	主食からみた世界の食文化 経済学部 地域環境政策学科 教授 小川 護（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	主食を中心とする食材について、作物の伝播と栽培方法、作物の保存と利用方法について、映像資料も使いながら、解りやすく解説する。

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 22	楽しい地図の利用 ～読図入門～
	経済学部 地域環境政策学科 教授 小川 護（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	市販されている地形図を中心に、郷土・沖縄を事例として取り上げながら、読図の仕方を中心に地図からみた沖縄の自然環境と、人々の生活について、やさしく解説する。

No. 23	GIS(地理情報システム)入門ーデジタル地図の世界ー
	経済学部 地域環境政策学科 教授 小川 護（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	近年、技術革新の著しい GIS(地理情報システム)。簡単に言えばコンピュータ上で空間情報の編集・解析・検索管理ができるデジタル地図のことである。 本講座では、具体的に GIS ソフトを使いながら、GIS(地理情報システム)についてその日常生活における活用方法について学びます。

No. 24	パリ協定と海洋圏沖縄のグリーンビジネス可能性
	経済学部 地域環境政策学科 教授 吳 錫畢（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	2020 年以降の温室効果ガス排出削減等のための国際枠組みパリ協定が、新たな経済振興のチャンスとして再び注目されています。「環境」というニュアンスは自然環境、貴重な動植物の保護の優先のイメージが強い。しかし、米国ではトランプ政権からバイデン政権に変わり、パリ協定への復帰など環境政策の大転換が起き「環境ビジネス」が再注目されています。米国に歩調を合わせるかのように日本も 2050 年を目標に「温室効果ガス排出量ゼロ」を打ち出した。電気自動車や再生可能エネルギーなどの分野に経済界も動きを加速しています。ここで海洋圏である沖縄はどう対応すべきか。世界貿易秩序を揺るがしかねないパリ協定の下で沖縄の新たな経済振興の可能性を探り、解説します。

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 25	沖縄のサンゴ礁はいくらか。—サンゴ礁の価値から真の豊かさを探る— 経済学部 地域環境政策学科 教授 呉 錫畢（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄の観光客数は年々急増し続け、沖縄経済に大きな役割を担いつつあります。ところで、海と関連する観光が沖縄にとって益々重要であります。特にサンゴ礁は、日本のみならず世界的にも貴重な生物環境であります。ところが、日本の復帰後、大規模な各種の公共事業や赤土流出、オニヒトデ、また自然変化による白化現象によって、沖縄のサンゴ礁の破壊が急速に進んでいます。本講座では、環境はいくらかというテーマで、沖縄のサンゴ礁の価値を貨幣評価で表現すると共に、沖縄経済の発展と真の豊かさの問題を互いに考えてみます。

No. 26	土の中の生き物と、生態系の話 経済学部 地域環境政策学科 准教授 齋藤 星耕（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	人間も生き物である以上、食物連鎖の一員ですが、その出発点となる植物は土壌から養分を吸収して成長します。また、生物の死骸や排泄物は土壌において養分に戻ります。このように土壌は生態系を支えています。この役割が発揮されるために、土壌では一体何が行われているのでしょうか？土壌に暮らす様々な生き物を紹介しながら、一緒に謎解きを進めていきます。

No. 27	DNA から調べる生物多様性：自然環境からお腹の中まで 経済学部 地域環境政策学科 准教授 齋藤 星耕（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	生物の設計図を収録する物質である DNA。この DNA を解読する技術が、この 10 年ちょっとで大幅に進歩して、安価に大量に解読できるようになりました。この技術が、生物多様性、つまり、どんな生き物がいるか、洗いざらい調べることに使われるようになりました。水や土を調べるだけで、天然記念物のような貴重な生物が生息しているかどうかわかります。また、皆さんのお腹の中で働く微生物たち（腸内細菌叢）を調べることもできます。今では腸内細菌叢と健康には密接なつながりがあることが知られるようになりました。こうした技術について解説します。

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 28	高校生のためのキャリア入門 経済学部 地域環境政策学科 教授 島袋 伊津子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	日本の人事管理・雇用慣習・労働環境をわかりやすく解説し、高校生の進路決定、就職活動についてアドバイスします。併せて本学のキャリア支援の現状、学生の進路先など具体例を交えて説明します。

No. 29	あなたの飲み水は大丈夫？ ～外国の事例から学ぶ PFAS 汚染とその対策～ 経済学部 地域環境政策学科 講師 砂川 かおり（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	有機フッ素化合物（PFAS）は 4700 以上の人工化学物質のグループであり、時間の経過とともに人間や環境に蓄積し、人の健康への影響が指摘されています。 水源の変更等により改善しつつあるものの、北谷浄水場の水源であった比謝川等の水質調査では、高濃度の有機フッ素化合物（PFOS 等）が検出されています。また嘉手納基地内から比謝川に流入する大工廻川においてさらに高濃度の PFOS 等が検出されていますが、水質の改善には至っていません。さらに、PFAS を含む泡消火剤は自衛隊那覇基地等からも流出し、県民の生活環境へ影響を及ぼしています。 本講座では、日本、米国等における PFAS 規制を紹介しつつ、沖縄県における PFAS 汚染対策の課題について考えていきます。

No. 30	島嶼村落における意識行動と環境配慮行動の違い 経済学部 地域環境政策学科 准教授 渡久地 朝央（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	生物保護や環境保護などに関する活動は肯定的に捉えられており、実際に活動に参加している人、時間の都合が付けば活動してみたい人もいるだろう。このような環境保全に関する活動は、個人やグループ、または教育活動の一環など様々な形で行われて、その活動の様子はニュースや新聞に取り上げられるなど社会的にも受け入れられている。しかしながら、社会で認められる活動である環境保全の活動に参加しない人々の割合は比較的に少ないのが実際である。このような人の考えと実際の行動の矛盾は、近年、行動経済学という分野で本講座では、行動経済学における知見を基に、環境保全に関する活動である環境配慮行動に対象を絞って説明を行う。

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 31	万人（うまんちゅ）で考える「琉球・沖縄独立論」！ ～平和・自由・平等の視点から～ 経済学部 地域環境政策学科 教授 友知 政樹（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	昨今、注目度が上がる「琉球独立論」について、平和・自由・平等の視点から共に考えてみましょう。琉球・沖縄の過去と現在に目を向け、さらに未来について考えます。経済は大丈夫なのか？安心・安全は大丈夫なのか？その他、諸々大丈夫なのか？琉球・沖縄の世論の移り変わり、世界の様々な平和的独立運動の事例、そして、国連における様々な取り組みなども紹介しながら、楽しく、かつ、真剣に考えます！

No. 32	カタルーニャにおける市民運動の歴史と成果 ～カタルーニャ独立運動の視点から～ 経済学部 地域環境政策学科 教授 友知 政樹（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	2019 年 4 月から 2020 年 3 月まで、学外研究（在外研究）の機会を利用して、カタルーニャ自治州（現在はスペインの一部）のバルセロナに滞在いたしました。滞在期間中はポンペウ・フアブラ大学（UPF）にお世話になりました。現地での体験学習を通して学んだ事、特に、カタルーニャにおける市民運動（「決定する権利」獲得運動、独立運動）の歴史と成果についての講座です。

No. 33	沖縄から全ての「基地」がなくなったら沖縄経済はどうなるか？ 経済学部 地域環境政策学科 教授 友知 政樹（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄から全基地（全ての米軍基地及び自衛隊基地）を撤去した際の沖縄経済に関する推計を 2012 年のデータをもとに行いました。沖縄県により公表された検討調査（2015 年）において使用された推計方法に準拠し計算したところ、全基地撤去後、3 兆 8426 億円の直接経済効果がもたらされると推計されます。この額は沖縄に基地があるためにもたらされる金額 2623 億円（基地関連補助金等含む）に対し 14.6 倍となると言えます。詳細は実際の講座において！

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 34	ゲームの理論で考える環境問題・エネルギー問題 経済学部 地域環境政策学科 教授 友知 政樹 （実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「塵も積もれば山となる」という言葉がある。ひとりひとりの何気ない行動が大問題を引き起こしかねない状況を懸念して使われる言葉である。環境問題やエネルギー問題などもその例外ではない。例えば、身近な環境問題としての「ゴミのポイ捨て問題」を解決するのは非常に困難である。エネルギー問題に関して言えば、「省エネ運動」を徹底させるのは決して容易なことではない。では、これらの難しさの原因は何なのか？そこに解決策は存在するのか？これらについて、“ゲーム”の理論を使って考える。ゲームの理論を通して世の中を覗くと、様々な「なぜ」に答えが見えてくる。

No. 35	COVID-19 の数理モデル ～SIIR モデル：感染拡大と無発症感染者の役割～ 経済学部 地域環境政策学科 教授 友知 政樹 （実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	本講座では、SIR や SEIR などの従来の感染症の数理モデルでは説明しきれない COVID-19 の感染拡大メカニズムの特性を明らかにするための新たな数理モデル SIIR について説明します。COVID-19 の特徴として、(1)未発症感染者(潜伏期感染者)が存在し潜伏期間にあっても感染力を持つこと、(2)無発症感染者が存在し野放しの状態で感染拡大に大きな役割を担うこと、(3)回復者が獲得する抗体の持続期間が有限であること、などを新たなモデルに取り込むことで、SIIR モデルが COVID-19 に対して適合的であることを示します。関連するデータについても紹介します。

No. 36	あんやたん!沖縄の貝 ～貝類利用の移り変わり～ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子 （実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	海に囲まれている琉球列島では先史時代よりさまざまな貝類を利用してきました。サンゴ礁、海草藻場、干潟、砂浜などから簡単に大量に採集できる貝類を、大事な食料、便利な道具、形を利用した魔除け、美しい装飾品として、時代とともにいろいろな用途に用いてきました。今回は、過去から現代まで沖縄の人々が時代の変化に合わせて貝類をどのように利用してきたか見ていきます。「この貝見たことある。あー、そうだった！」と懐かしく思われる人もいるかも！？

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 37	沖縄島の打ち上げ貝から何がわかる！？ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄と言えばきれいな海！ですね。砂浜で、ビーチで、波打ち際に転がっている貝殻拾いをしたことがある人も多いのではないのでしょうか。なんとなく拾った貝、自然の砂浜と人工ビーチで打ちあがる貝類は違うの？違うの？東海岸と西海岸、打ちあがる貝殻に特徴はあるの？など知りたいですね。 ゼミの学生たちと一緒に、沖縄島、奄美大島など約 40 か所の打ち上げ貝を拾い集めて種同定した結果をお話ししたいと思います。打ちあがる貝類が語りかけてくる言葉に、耳を傾けてみませんか？

No. 38	沖縄県の海岸環境とその役割 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄の海といえば、「サンゴ礁」のイメージがあります。しかしその他にも、「砂浜」、「干潟」、「海草藻場」、「マングローブ環境」など様々な海岸環境があります。それぞれの環境には複数の機能があり、例えば砂浜には波浪減衰効果、海水浄化などがあります。砂浜からサンゴ礁縁（リーフエッジ）までの浅い海は礁池（イノー）と呼ばれ、さまざまな生物が生息しています。しかしこの浅い環境は埋め立て工事が容易なため、急速に陸地化し、各地で台風のたびに大きな被害が起きています。防災の上でも、生物の保全を考える上でも、砂浜からイノー、サンゴ礁までの連続した環境があることがとても大切です。

No. 39	砂浜にあるゴミはどこから来ているのか？ ～沖縄県の海岸ゴミ・漂着ゴミの現状～ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄の魅力のひとつは、青くて透き通った海、白い砂浜です。しかし、海辺に行くと気になるのが、浜辺に落ちている海岸ゴミ・漂着ゴミです。これらのゴミは、誰が捨てたの？どこから来たの？どの海岸にゴミは多いの？いつ頃多いの？と気になることはたくさんあります。今回は、海岸ゴミ・漂着ゴミについてと、近年話題となっている砂に混じって見つかるマイクロプラスチック（微小プラスチックゴミ）の現状についてもお話ししたいと思います。

2023 年度 大学入門講座一覧

【経済学部 提供講座】

No. 40	南の海の砂浜は、いったい何からできている？ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄に住んでいる皆さん、沖縄の海岸をまわったことはありますか？サンゴ礁が広がる南の島で、青い海、白い砂浜？？内地の砂浜は黒くてきれいじゃない？実は、沖縄の砂浜は場所により非常に個性があり、色も形もさまざまな砂粒が堆積して作られています。しかし沖縄では、各地で自然海岸の砂浜に手が増えられ人工海岸へと急速に改変され、生物や環境、景観に様々な影響が出ています。身近すぎて見過ごしがちな砂浜海岸の機能について紹介します。そして、琉球列島の自然の砂浜の多様さを、奄美大島、石垣島、宮古島の砂浜も併せて紹介していきたいと思います。

No. 41	沖縄のサンゴ礁漁業 ～電灯潜り漁って何！？～ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	サンゴ礁域で漁獲される水産物は魚類だけでも 200 種以上で、多種少産というのがサンゴ礁の水産資源の特徴です。サンゴ礁域は複雑な地形なので、定置網や建干網は適さず、追込網漁や電灯潜り漁が盛んです。実はサンゴ礁域の魚類には、メスとして産卵した後、成長してオスに性転換しオスとして繁殖する魚種も多いのです。食用魚類で有名なイラブチャー、アカジン、マクブーはすべてメスからオスに性転換します。今回は、サンゴ礁魚類の持続的な資源利用を考えるために、電灯潜り漁で獲れる魚種とその漁獲数やサイズ組成、電灯潜り漁による傷の有無や程度とセリ単価との関係などについてお話しします。

No. 42	沖縄の夏の浜辺の恐怖 ～ハブクラゲについて知ろう～ 経済学部 地域環境政策学科 准教授 山川 彩子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄と言えば白い砂浜、美しい海、さあ水着で泳ぎだそう！！あ、でもちょっと待って……。2021 年 7 月、豊見城市瀬長島の瀬長ビーチで 9 歳の女儿がハブクラゲに刺され、一時意識を失う被害がおきました。沖縄の美しい海を楽しむには、危険生物に関する最低限の知識が必要です。ハブクラゲってどんな生き物？毒の強さは？予防法や応急処置は？そもそも沖縄県民はいつどこで何をしてハブクラゲに刺されているの？2009～2021 年（計 13 年）に実施した、延べ 793 名の沖縄国際大学生へのアンケート調査結果をもとに、沖縄島における沖縄県民のハブクラゲ被害の実態についてひもといていきます。

2023 年度 大学入門講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 43	はじめての経営学： 職務設計と組織づくり 産業情報学部 企業システム学科 教授 岩橋 建治（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	経営学への第一歩として、職務設計と組織づくりの理論を学びます。みんなで力をあわせて目標を達成するために、効率的な方法やルールを考えたり、人間関係に気を配り、モチベーションを高めようと努力した経験はありませんか。どうすればもっと上手くみんなの力を引き出せるだろうかと思ったとき、きっと経営学の考え方が役に立ちます。職務設計については、企業における効率的な科学的管理法、集団心理に着目した人間関係論、そして一人一人のモチベーションに関わる行動科学を紹介します。組織づくりでは、分業・権限・マニュアル化を中心に、いくつかの企業について触れます。企業をもっと身近に感じ、経営学の面白さをぜひ見つけてください。

No. 44	アントレプレナーシップの経営学： 起業・イノベーション・創造的破壊 産業情報学部 企業システム学科 教授 岩橋 建治（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	アントレプレナーシップ（企業家精神）について、起業、イノベーション、および創造的破壊の側面から学びます。アントレプレナー（企業家）とは、単なるリーダーではなく、もっとすごいことをやってのける人たちを指し、多くの人がそこにシビれたり憧れたりする存在です。自らのアイデアや技術を武器に、誰も思いつかなかった商品やサービスを生み出すことで、市場や社会にイノベーションをもたらしたり、既存のビジネスの常識や慣習を破壊し、収益をもたらす新しい仕組み（ビジネスモデル）を創造します。この講座では、アントレプレナーシップの経営学に触れ、そこから、変化の激しい時代に生きる私たちが何を学べるのかについて考えます。

No. 45	マック vs. モスー 高校生のための会計入門ー（普通高校向け） 産業情報学部 企業システム学科 教授 清村 英之（実施方法：対面）
	高校生の皆さんにとって、「会計」という言葉はあまり馴染みのないものかもしれません。「会計」といわれて思い浮かべるのは、クラスの会計係ぐらいでしょうか？ クラスのみんなからお金を預かり、それを管理するのが会計係の役割です。これと会社の「会計」とは何が違うのでしょうか？ また、大学で「会計」を学ぶことによって、会社のどんなことが分かるようになり、それがどのように役立つのでしょうか？ この講座では、皆さんの誰もが知っているマック（マクドナルド）とモス（モスバーガー）を題材に、上記の疑問点をやさしく解き明かします。

2023 年度 大学入門講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 46	決算書を見れば会社の戦略がわかる！ —任天堂と資生堂—（商業高校向け） 産業情報学部 企業システム学科 教授 清村 英之（実施方法：対面）
	商業高校の皆さんが「簿記」や「財務会計Ⅰ」で学んだように、貸借対照表と損益計算書（いわゆる決算書）は会社の活動を記録・計算・整理し、1つの計算書（表）にまとめたものです。したがって、決算書を見れば、会社が何を考えて活動しているのかが分かります。ちなみに、小さな会社では、決算書から社長の性格が読み取れるといわれています。 この講座では、任天堂や資生堂など、皆さんの誰もが知っている会社の決算書を見て、それぞれの会社の戦略をやさしく解き明かします。また、簿記・会計を学ぶメリット（得すること）についてもお話しします。

No. 47	ビジネスを通して社会を知ろう：経営戦略論の視点 産業情報学部 企業システム学科 講師 城間 康文（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	皆さん、経営学と聞いて「経営者だけが学ぶもの」また「金儲けの学問」というイメージを持っていませんか。沖国大の産業情報学部企業システム学科は様々な経営学の科目を揃えています。そのようなイメージ・内容ではありません。 この講座は、経営学における一分野、経営戦略論の入門編となります。経営戦略論は企業やブランドの方針を学ぶ分野ですが、入門なので難しい用語は多く出てきません。 今回、皆さんがよく知っていると思われるビジネスを例に取り上げ、大学の講義形式で経営戦略論のあるトピックを紹介します。「経営学はこのような学問」と知ってもらい、その魅力や重要性を伝えたいと考えています。

No. 48	沖縄県における中心市街地活性化の課題とこれからの方向性を考える 産業情報学部 企業システム学科 准教授 髭白 晃宜（実施方法：対面）
	地方都市が抱える課題のひとつに中心市街地の空洞化が挙げられる。沖縄県においては、那覇市・国際通りを中心とした商業区域が観光客を顧客の中心に据えて発展を続けているが、その他の地元住民をターゲットにした地域密着型の商店街などは、消費者のライフスタイルの変化や、IT 技術の発展、モータリゼーションなどの影響を受けて、衰退もしくは発展が停滞している状態である。沖縄県は観光と地域商業の発展をどのようなバランスで成立させていく必要があるのか。 本講座では、沖縄県におけるいくつかの商店街を事例に、その歴史・取り組みを振り返りながら、中心市街地活性化の今後の方向性について考えていく。

2023 年度 大学入門講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 49	ウェブテクノロジーとビッグデータが未来を変える ～ビジネス・教育・娯楽・農業・メディア・生活のすべてが変わる～ 産業情報学部 産業情報学科 教授 安里 肇（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 近年、情報技術の進化のスピードが速まり、既存のビジネスにおける影響力が急速に増えています。人工知能の実用化も進み、各種ロボットによる自動化や新たな技術・サービスの登場により、今後は無くなる職業の議論も多くされるようになってきました。本講義では、情報技術がビジネスの世界にどのような影響を及ぼして、今後、ウェブテクノロジーが人間の生活をどのように変えるのかを事例を挙げながら解説していきます。
--------	---

No. 50	Google や Yahoo!はどうやって儲けているの？ ～インターネット広告のビジネスモデル～ 産業情報学部 産業情報学科 教授 安里 肇（実施方法：対面／オンライン どちらも可） 皆さんの日常生活でも携帯電話やスマートフォンは必要不可欠なものになってますよね。これは、話すだけではなく、電子メールやインターネット上のウェブサイトを閲覧できるようになり、使い方の幅が広がっているからです。インターネット利用者が急増してから個人の生活スタイルだけでなく、企業の儲け方も大きく変わりました。例えば、Google や Yahoo!はどこから利益を得ているのでしょうか？ Amazon は本や CD 等を売っているだけでしょうか？ 企業の広告・宣伝費においてもインターネットは、テレビ広告を抜き 1 位になる可能性が高くなってきています。この身近になった、巨大メディアであるインターネットの現状や未来について解説していきます。
--------	---

No. 51	DX はビジネスの未来をどのように変えていくのか？ 産業情報学部 産業情報学科 教授 安里 肇（実施方法：対面／オンライン どちらも可） DX (Digital Transformation / デジタルトランスフォーメーション) とは、進化した情報技術を一般的に利用することで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のことです。日本でも遅まきながらデジタル庁が設置され、国・都道府県・自治体が一体となった行政デジタルプラットフォームの構築が進もうとしています。ポストコロナの大きく変貌した世界において DX はとても重要なキーワードとなります。本講義では、DX の事例を紹介し、これからのビジネスや社会がどのように変わっていくか、またどのように変わらなければ生き残れないかなどを解説していきます。
--------	---

2023 年度 大学入門講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 52	ゲームを活用した地域振興 –e スポーツ・位置情報ゲーム– 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	茨城国体の文化プログラムとして「全国都道府県対抗 e スポーツ選手権」が加わったことにより、日本でも e スポーツに注目が集まっています。また、2016 年に発表された位置情報ゲームアプリ「ポケモン GO」は世界中で大ヒットし、社会現象にまでなりました。コンピュータゲームは単なる娯楽とは言えなくなっています。 本講座では、「ゲーム×観光」の観点から見ていき、観光振興にどのように活用されてきたのか解説します。また、今後の沖縄でのゲーム活用の可能性についてもお話しします。

No. 53	バーチャルリアリティで観光体験 –観光産業での VR を用いた事例紹介– 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	2016 年に家庭用ゲーム機の VR 機器（Playstation VR）が発売になり、話題になりました。沖縄県内でも VR 体験の行えるアミューズメント施設などが増えてきています。しかし、「VR とは?」と問われても正確に答えるのは難しいのではないのでしょうか。また、「VR=エンターテインメント（娯楽）」と思われている人もいるのではないのでしょうか。 本講座では VR の基礎技術、歴史などもふまえ分かりやすく解説します。さらに、観光産業での VR の活用事例を紹介します。

No. 54	AR（拡張現実感）・MR（複合現実感）による観光サポート 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	スマートフォンなどのカメラからの映像にコンピュータで作成した映像（CG）を重ね合わせて表示する技術として AR（拡張現実感）・MR（複合現実感）があります。2016 年に公開されたスマートフォンアプリ「Pokemon GO（ポケモン GO）」では AR 技術が用いられており、世界中で話題になりました。また、携帯ゲーム機にも AR 技術を用いたソフトが多く発売されている。 本講座では、AR/MR の基礎技術を解説するとともに、エンターテインメント（娯楽）以外での活用事例を紹介する。特に観光産業での観光サポート、道案内、新しい体験の提供などでの AR/MR の活用事例を紹介する。

2023 年度 大学入門講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 55	スクラッチで楽しく作るゲームプログラミング入門 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	一般の人にも教養として楽しめるプログラムの作成方法について学びます。具体的にはプログラム言語「Scratch（スクラッチ）」を用い、ゲーム制作を通してプログラムの基本処理（順次・反復・分岐）について修得することを目指します。 注意：PC かタブレット が利用できる環境が必要です。PC の場合、ブラウザとして Chrome（バージョン 63 以上）、Edge（バージョン 15 以上）、Firefox（バージョン 57 以上）、Safari（バージョン 11 以上）のいずれかがインストールされている必要があります。Internet Explorer はサポートされていません。タブレットの場合は、Mobile Chrome（バージョン 63 以上）、Mobile Safari（バージョン 11 以上）のいずれかとなります。また、インターネットが利用できる環境が必要です。 ※ただしオンラインでの実施の場合、すべての参加者の PC で Zoom/Google Meets/MS Teams などを利用できるようにし、講師からの指示で画面共有等ができるようにしてください。

No. 56	身の回りのコンピュータ 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	普段、何気に使っているテレビ、炊飯器、洗濯機、冷蔵庫などなど家電製品のほとんどのものにコンピュータが使用されているのを知っているでしょうか？普段身の回りで使っているものでコンピュータを使っていないものを探すのは実は大変なことです。 本講座では身の回りでどんなところでコンピュータが使われているのか、またコンピュータとは一体何なのかについて分かりやすく解説します。

No. 57	ゲームやパズルを通して学ぶコンピュータの基本原則 産業情報学部 産業情報学科 准教授 小渡 悟（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	ゲームやパズルを通してコンピュータの基本原則を楽しく解説します。コンピュータの進歩はとて早いため「使い方」を学んでもすぐに陳腐化してしまいます。しかし、コンピュータの「基本原則」はすぐには変わらないことから、この基本原則を学ぶことで「時代が変わっても通用する力」を身につけることができます。（PC は使用しません）

2023 年度 大学入門講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 58	デザイン入門 ―デザインのしくみ― 産業情報学部 産業情報学科 講師 大山 健治（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	デザインは私たちの身近なものになっています。ウェブサイトのデザインやポスターやチラシなどのグラフィックデザイン。スマートフォンアプリのデザインにいたるまで、誰もが一度は目にしたり、使ったことがあるかもしれません。しかし、こうしたデザインがどのように作られ、私たちとどのような関わりがあるか意識することは少ないと思います。デザインは色や形だけではなく、私たちの物の見方や感じ方、社会の仕組みと深い関わりがあります。この講座では、デザインの基礎について学び、その効果と役割について解説します。

No. 59	3DCG から広がる世界 ―ゲーム・アニメ・映像― 産業情報学部 産業情報学科 講師 大山 健治（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	3DCG（コンピュータ・グラフィックス）は、ゲームやアニメ、映画など私たちの身近な存在になっています。コンピュータの発達によって表現の幅が広がり、エンターテインメントやコンテンツ産業だけではなく様々な分野で応用する試みが増えています。この講座では、最新のコンピュータ・グラフィックス技術と表現について事例を交えながら解説します。

No. 60	どちらを選ぶべき？ ～ 意思決定の科学 ～ 産業情報学部 産業情報学科 教授 平良 直之（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	“どちらを選ぶべき？”という問題は私たちの身の回りに沢山あります。日常生活から進路決定、企業の戦略決定など個人で決めるべきことから集団で取り組むものまで様々です。その一方で、“高校で学ぶ数学は本当に必要なの？”という疑問を感じたことは誰にでもあると思います。 この講座では、情報科学の立場から意思決定をどうサポートするかについて、具体例を交えてやさしく解説します。

2023 年度 大学入門講座一覧

【産業情報学部 提供講座】

No. 61	産業内競争の戦略／競争を避けながら競争する企業 産業情報学部 産業情報学科 教授 中野 謙（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	コンビニエンスストアの近くに別のコンビニエンスストアが出店していることがあります。「もっと離れて出店してくれたら便利なのに」と思ったことはありませんか？ また、スマートフォンの通話料はなかなか値下がりせず、政府の勧告で値下げが生じて、すべての企業がほとんど同じ水準に引き下げるだけです。こうした現象を見ると、企業は競争をしているのか、していないのか、よくわかりません。それは、企業が「競争を避けながら競争している」ためです。 この講座では、企業と企業の競争はなぜ生じるのか、どのように競争を避けているのか、なぜ競争を避けながらも競争をするのか、という部分に焦点を当て、身近な例を用いてお話しします。

No. 62	豊かさの指標について～持続可能性を考える～ 産業情報学部 産業情報学科 准教授 比嘉 一仁（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「日本はどの程度豊かなのか？」そう考えたことがあるかもしれません。その豊かさを説明するには、どうしたら良いのでしょうか。この講座では、豊かさの指標について説明します。さらに、「経済的な富＝豊かさ」なのかについても説明します。

No. 63	所得が上昇すると、幸せになれる？ 産業情報学部 産業情報学科 准教授 比嘉 一仁（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「低い所得と高い所得がもらえるとき、どっちがいいですか？」と質問された時、多くの人が「高い所得が欲しい」と答えると思います。それでは、高い所得がもらえるようになると、人は幸せになるのでしょうか。この講座では所得と幸せの関係について、経済学で知られている知見について説明します。

2023 年度 大学入門講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 64	琉球芸能に学ぶ(実演・解説・体験) 総合文化学部 日本文化学科 教授 田場 裕規 (実施方法: 対面／オンライン どちらも可)
	琉球芸能文学研究会は、各人がそれぞれの流派・会派で学ぶ琉球芸能（舞踊・歌三線・箏曲・笛・太鼓・胡弓）や沖縄各地に伝わる民俗芸能（八重山舞踊・竹富島の芸能）を習得し、芸能に内在する文化的な価値を見いだす研究を行っています。顧問田場裕規・副顧問宮城茂雄（伝統組踊伝承者、琉球舞踊宮城流教師）の指導のもと、実践的に芸能を学ぶとともに、明朗活発な文化の発信を目指しております。本講座は、琉球芸能文学研究会の学生が日々稽古を重ねて習得した芸能を実演し、それに解説を加え、受講者と芸能を体験する講座になっております。修学旅行の沖縄体験学習や、地域の文化講座等で活用していただけるものと思います。 ※活動実績「双葉踊り」（宮城県・東京都・愛媛県・北海道・兵庫県・和歌山県・宮古島市） ※演目例（四季口説、ゼイ、貫花、久高節、スル掬い、タコ捕り、谷茶前、ションカニ小、マヤー小）等々

No. 65	伝える技術・伝わる論理 ～志望理由書・自己推薦文の書き方～ 総合文化学部 日本文化学科 教授 田場 裕規 (実施方法: 対面／オンライン どちらも可)
	高等学校で長く国語を教えていた経験から、大学入試における志望理由書・自己推薦文などの指導を行ってきました。志望理由を掘り下げることは、自分自身の課題意識をより明確にすることです。さらに、キャリア意識をどのようにもつかということとも関係します。伝えるための技術は、伝わる論理に裏付けされていることを解き明かしながら、具体的実習を行います。

No. 66	国語学習自由自在 ～大学入試国語のさらに上を～ 総合文化学部 日本文化学科 教授 田場 裕規 (実施方法: 対面／オンライン どちらも可)
	大学入試（国語）の対策に長く携わって来て見えてきたことがあります。それは、大学入試によってはかられる国語学力は一面的なものだということです。しかし、大学入試（国語）に縛られた国語学力観が世の中には多いと思います。高校教員として、入試対策や模擬試験の作題等に関わる機会が多くありましたが、もっと国語学習を自分の思いのままに、行うことができれば面白いのではないかと考えています。例えば、季節感とことばとの関係を見出したり、地域（沖縄）の言語と古典の世界をつないだりすることによって、ことばのネットワークを広げていくことができるということを、高校生と学び合うことができればと思います。受験のための国語学習に終わらない、さらに上の学習法を考えていきたいと思っています。

2023 年度 大学入門講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 67	古典との対話 総合文化学部 日本文化学科 教授 田場 裕規（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	なぜ古典を学ぶのか。なぜ古典を学ばなければならないのか。そんな素朴な疑問を「対話」をキーワードにして高校生と考えていきたい。友達と仲良くなるということは、相手のことをより多く知ることによってなされると思う人が多いが、実は仲良くなることの内実は、自分との違いをより多く知ることにあるのではないだろうか。「対話」とは、そういう営みのことである。「知識としての古典」から、「対話する相手としての古典」に考え方を変えるだけで、古典の中に豊かな学びがあることに気づく。それを知らずに、難しいと頭を抱えている高校生と「古典との対話」の実践を試みたい。取り上げる作品は、可能な限りリクエストに応じたい。

No. 68	しまくとうばの文芸作品にふれてみよう 総合文化学部 日本文化学科 教授 西岡 敏（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	琉球・沖縄では、古琉球、近世琉球、近代沖縄といった各々の時代において琉球語・琉球文（しまくとうば）を中心とした独自の文芸が花開きました。「オモロ」「琉歌」「組踊」「琉球民謡」「沖縄芝居」などが挙げられるでしょう。 琉球・沖縄の地に根差した文芸を読み解き、琉球・沖縄における文化的な特徴について考察します。

No. 69	文学研究入門 総合文化学部 日本文化学科 教授 村上 陽子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	大学で文学を研究するとはどういうことか？ 文学研究は、読書や、国語の授業で行ってきた読解とどう違うのか？ これらの疑問に答えつつ、初学者向けに文学研究の魅力を伝える講義を行います。

2023 年度 大学入門講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 70	小説創作のための文章教室 総合文化学部 日本文化学科 教授 村上 陽子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	小説を書きたい人、書いている人に向けた文章教室。基礎的な文章スキルや適切な分量、創作につながる発想のヒントなどを教えます。

No. 71	民族とナショナリズム論 総合文化学部 社会文化学科 教授 石垣 直（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	20 世紀そして 21 世紀は「ナショナリズム・民族紛争の時代」だといわれます。世界各地では、民族や宗教をめぐる対立が原因だとされる紛争が、数多く起こっています。では、そもそも「民族」とは何なのでしょう、それは「国民」と違うのでしょうか、その歴史的な形成とはいかなるものなのでしょうか、それが「問題化」する要因とは何なのでしょう？ 本講座の目的は、「民族」・「ナショナリズム」をめぐる歴史的および現代的状況を、世界各地の具体的な事例に基づいて理解することにあります。社会・文化人類学的な観点から、「民族」・「ナショナリズム」を取り巻く歴史と現状を再考し、多文化共生の可能性を一緒に探求してみましょう。

No. 72	文化人類学入門 総合文化学部 社会文化学科 教授 石垣 直（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「文化人類学」は、「文化」をキーワードに人類の多様性と普遍性を議論する学問です。私たち人類はいつ誕生した？ 「人種」が違えば「文化」も違う？ ヨーロッパ文明こそが世界史をリードしてきた？ 「夫婦別姓」はけしからん？ 日本人と中国人は「同種同文」？ 諸文化で「右」(東)が優越するのはなぜ？ キリスト教とイスラム教の対立は別個の神の間の戦い？ こうした問いに私たちはどれだけ答えられるのでしょうか？ グローバル化が進む 21 世紀に求められるのは、自文化の特徴を歴史的に理解し、敬意をもって異文化・他者と接する視点・態度です。文化人類学の初歩を学ぶことで、人類の歴史と現在について一緒に考えてみませんか。

2023 年度 大学入門講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 73	中国の言語と文化 総合文化学部 社会文化学科 教授 石垣 直（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	中国は歴史的に沖縄と深い関わりあいをもってきた国・地域です。中国はまた、近代になって琉球王国が本格的に日本の国家制度に組み込まれてきた歴史、日本の近代・現代、さらには 21 世紀のアジアおよび世界を考えるうえで、とても重要な参照対象です。しかしながら残念なことに、私たち沖縄の島々に住む人々は、「沖縄文化には中国の影響がある」と漠然と考えるだけで、中国の歴史や文化、さらには沖縄との関係についての基礎的な理解すら不十分なままなのではないでしょうか。本講座では、地理・歴史、言語、親族、宗教、政治・経済といったさまざまなトピックから多面的に迫ることで、「巨大な隣人」についての理解を深めることを目指します。

No. 74	感染症からみる日本の歴史 総合文化学部 社会文化学科 准教授 市川 智生（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	日本史や世界史と聞くと、有名な事件や人物について勉強することだと思っていませんか？近年の歴史学では、健康や病気のように、みなさんにも身近な問題について研究成果が続々と発表されています。 この講座では、かつて日本で大流行した天然痘、コレラ、ペスト、インフルエンザなどの急性感染症をとりあげ、社会にどのような影響を与えてきたのかを考えます。そして、みなさんが暮らす沖縄については、マラリアやフィラリアなどの「風土病」に注目し、その克服の歴史を紹介します。 新型コロナウイルス感染症によって社会生活が大きく変わりつつある現在、感染症の歴史について考えるきっかけをつかんでもらえればと思います。

No. 75	なぜ歴史を学ぶのか？ ～覚えないう歴史～ 総合文化学部 社会文化学科 教授 藤波 潔（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「昔のことは知ったって意味がない」「歴史は暗記すればよい」などと思っていませんか？皆さんが「歴史を学ぶ」時に真っ先に思いつくのは、教科書に記載された膨大な事柄の「暗記」でしょう。しかし、過去の出来事を暗記しても、決して歴史を学んだことにはなりませんし、おぼえてもそれ程意味はありません。 では、なぜ歴史を学ぶ必要があるのでしょうか？また、どのように歴史を学べばよいのでしょうか？一緒に考えてみましょう！

2023 年度 大学入門講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 76	自分の生き方を考える「キャリア教育」 総合文化学部 社会文化学科 教授 藤波 潔（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「キャリア教育」とは、進学先や就職先を決めることが目的ではありません。また、毎日の学習はテストで高得点をとることや、進学・就職を実現するためだけにおこなうものでもありません。「キャリア教育」は、毎日の学校生活と密接に関係し、自分がどのように生きていくかを考える中で「働き方」を考えるものです。この講座で、皆さんの「生き方」の現在と未来を考えてください。

No. 77	入門沖縄の考古学 －発掘でわかる地域の歴史－ 総合文化学部 社会文化学科 准教授 宮城 弘樹（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	今から約 70 年前の沖縄戦の遺物、あるいは約 600 年前に築かれたグスクと呼ばれる城跡、約 2,000 年以上前の人々が残した貝塚、さらにもっと遡って島にやってきた約 2 万年前の港川人。沖縄の地下にはたくさんの遺跡があります。最新の発掘成果から明らかになった、考古学が明らかにしてきた沖縄の歴史についてわかりやすく紹介します。

No. 78	グスク入門 －探求！琉球王国グスク及び関連遺産群－ 総合文化学部 社会文化学科 准教授 宮城 弘樹（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄にはグスクと呼ばれる遺跡があります。世界遺産に登録される今帰仁、勝連、中城、座喜味、首里はみなさんも良くご存じだと思います。 これらの遺跡が城として現役だった時代は、14 世紀から 15 世紀で、この時代沖縄本島を三分する勢力が争っていました。 発掘調査や最新の研究によって明らかになるグスクの実像についてわかりやすく紹介します。

2023 年度 大学入門講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 79	現代社会と福祉 ～社会福祉の視点から社会を見つめる～ 総合文化学部 人間福祉学科 教授 岩田 直子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	少子高齢社会、人口減少社会の日本において、社会福祉課題もより複雑化しています。例えば、貧困、社会的排除、分断などがあります。これらの課題について社会福祉学の視点からその背景を分析したいと思います。また、ソーシャルワーカーが取り組んでいることを紹介したいと思います。

No. 80	みなさんのアイドルは誰ですか？ ヒットソングと映画で学ぶ非行と福祉 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 荻野 太司（実施方法：対面）
	高校生のみなさんの好きな歌手は誰ですか？ 30年前、私の高校時代のアイドルは尾崎豊でした（みなさん知っていますか？）。ヒットソングや映画の変遷を追いかけてながら、尾崎豊の時代と非行や福祉がどのように変化したのか、ともに学ぶことにしましょう。

No. 81	もし家がなくなったら？ 避難所運営ゲームで体験する災害と福祉 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 荻野 太司（実施方法：対面）
	今日、災害のニュースを耳にしない日はありません。決して他人事ではありません。もし水害で家が流されたら？もし地震で家が倒壊したら？そんな時に、利用するのが避難所です。避難所では、他人と一つの空間で共同生活を送らなければなりません。避難所運営ゲームへの参加を通して、災害時の福祉と共生について皆さんと考えていきたいと思っています。

2023 年度 大学入門講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 82	統計から学ぶ沖縄県の非行と犯罪 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 荻野 太司（実施方法：対面）
	高齢化社会では、刑務所に高齢者が増えるように、犯罪や刑罰は、この社会を映す鏡といわれています。 今日沖縄の社会における少年非行は減っているのでしょうか？増えているのでしょうか？少年院に収容される非行少年は、どのような少年たちなのでしょう？ 統計から、沖縄の少年非行や犯罪の傾向を明らかにし、沖縄の地域社会の課題についてみなさんと考えていきたいと思います。

No. 83	大人になるってどういうこと？（青年期の心理学） 総合文化学部 人間福祉学科 教授 片本 恵利（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「もう子どもじゃない」「でもまだ大人にはなりたくない」「自立って何？」…10 代の人の多くが頭を悩ませるテーマですね。…子どもでもなく大人でもない「青年期」。実は、100 年以上前の若者もやはり悩んでいましたし、皆さんの周りの大人も（もちろん私も！）、一度は悩んだ経験がきっとあります。そんな元・あるいは現役青年たちのお悩みや失敗も紹介しながら、「大人になる」ことについて心理学的に考え、困ったときの対処法も紹介したいと思います。この講座で、「大人になることも悪くない」とか「大人になるのがちょっと楽しみ」と思っていただければ嬉しいです。

No. 84	恋愛と結婚の心理学～私もパートナーも笑顔になれるヒント～ 総合文化学部 人間福祉学科 教授 片本 恵利（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「男性のココがナゾ」「女性のココが分からない」「恋愛運ってあるの？」「モテるためにはどうしたらいい？」「恋愛と結婚はどう違うの？」「良い交際を続けるコツは？」など恋愛や結婚に関する身近な Q&A をとおして、多様な性のあり方への理解を含めた自分とパートナーの理解、トラブル解決のヒントなどを学びながら自分も相手も大切にする生き方について考えていく、例年好評の講座です。

2023 年度 大学入門講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 85	「やりたいことが見つからない私」の進路選択 総合文化学部 人間福祉学科 教授 片本 恵利（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「なんで勉強しないといかんばー？」「仕事なんてしたくないし。だいたい、なりたいものなんてない。」その疑問、多分、皆さんの周りの大人もみんな（もちろん私も！）一度は考えたことがあるんです。この講座では、そんな元・青年のお悩みや失敗談を交えながら「仕事って、誰の、何のためにするの？（しなくちゃいけないの…？）」「決めたくないときは、どうしたらいい？」などの疑問について心理学の理論を使って考えていきます。

No. 86	高校生のための社会福祉講話 総合文化学部 人間福祉学科 教授 知名 孝（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	社会福祉分野は、老人から児童、障害者、貧困対策、メンタルヘルスなど、広い範囲に広がっています。そして生活に密着した実践・学問であるが故に。生活経験の乏しい若い人達（とりわけ高校生）にとっては、非常にわかりにくいものになっています。私は主に児童を含めたメンタルヘルス分野で、アメリカの現場も含めて、精神保健福祉士・臨床心理士・公認心理師としての勤務経験があります。その経験をふまえた、わかりやすい「高校生のための社会福祉講話」を行います。

No. 87	わかりやすい福祉の話－入門編 総合文化学部 人間福祉学科 教授 知名 孝（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	高齢者や障害者、そして児童から犯罪者まで、福祉は様々な分野の中で行われている実践であり理論でもあります。同時に、福祉の仕事はあまりにも生活の中で具体的なことを支援の対象にしているために、分かりにくいものにもなっています。この講座では、様々な福祉分野での実践・研究を行ってきた講師が、その経験を生かして、福祉とはどういう実践なのか（どういうお仕事なのか）ということについて講話していきます。ほとんどの人が自分自身や家族・友人など、一度は福祉（サービス）との関わりを持つ分野でもあります。福祉の理解を深めておくことは、将来への備えにもなると考えています。

2023 年度 大学入門講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 88	「サザエさん」から考える家族の「奇々」と「危機」 総合文化学部 人間福祉学科 教授 桃原 一彦（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	マンガやアニメでお馴染みの「サザエさん」。その作品で描かれている「永遠不変」な登場人物たちとそのキャラクターや振る舞い、そしてかれらが日々つくり上げていく家族は、社会学やジェンダーの視点から見えていくと、実に「平和」で不可思議な世界が表現されています。それでも、私たちは毎週日曜の夕食時間に「家族みんなで」何気なくその作品を目にし、何となく「家族」イメージを作り上げていきます。そのイメージからどのような現実や問題が見えにくくなってしまおうのか、とくに家族の「危機」を中心に社会学の視点で一緒に考えていきましょう。

No. 89	「ヘイトスピーチ」から考える「不安」な時代の处世術 総合文化学部 人間福祉学科 教授 桃原 一彦（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	インターネット上を中心に横行する「ヘイトスピーチ」。それは、相手を傷つけることを主な目的とした言葉による暴力。そこには目を背けたくなる、耳を塞ぎたくなる、つまりできるだけ自分自身から遠ざけたくなるような罵詈雑言が飛び交います。しかし、それは決して遠い世界の「ひとごと」「よそごと」ではなく、実はいつの間にか気がつく「自分ごと」として巻き込まれていく可能性が潜んでいます。「ヘイトスピーチ」がどのようなメカニズムで発生するのか、その「不安」な時代を乗り越える处世術を社会学の視点で一緒に考えていきましょう。

No. 90	子どもの貧困について知ろう～子どもへの影響とその支援～ 総合文化学部 人間福祉学科 教授 比嘉 昌哉（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	沖縄県の子どもの貧困率は高く全国の約 2 倍である【29.9%：2014(平成 26)年】。この問題は、単に家庭(保護者)の経済的な問題だけではない。例えば経済的な理由から進学をあきらめる、栄養バランスのとれた食事が 1 日で給食しかない、深夜まで親が働いているので帰宅しても誰もいないなど。子どもの貧困に関する居場所設置や支援員配置など国(内閣府)や沖縄県の取り組みを中心に考えていく。

2023 年度 大学入門講座一覧

【総合文化学部 提供講座】

No. 91	ヤングケアラーって何？～子どもたちの置かれている実態～ 総合文化学部 人間福祉学科 教授 比嘉 昌哉（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	2021 年 3 月に発表された全国調査を契機に、沖縄県でも 2021 年 2 月には教師等支援者を対象とした調査が実施・公表されている。さらに、県は 2022 年度には当事者である子どもを対象とした調査も計画している。これらの調査結果等を元にヤングケアラーである子どもたちの置かれている実態について理解し、この問題を社会問題と理解し「自分事」として考えていく。

No. 92	じどうぎゃくたいの現状～子どもの権利の視点から考える～ 総合文化学部 人間福祉学科 教授 比嘉 昌哉（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	児童虐待に関するニュースが、毎日のように報道されるが、それを見聞きするたびに心が痛む。児童虐待問題を子どもの権利の視点から、理解していく。特に、沖縄県の実態と課題に焦点をあててみていく。国(厚生労働省)が毎年まとめている、「死亡事例検証」からも学びを深める。

No. 93	高校生のための医療ソーシャルワーカーの仕事入門 総合文化学部 人間福祉学科 准教授 樋口 美智子（実施方法：対面／オンライン どちらも可）
	「人の役に立てる仕事をしたい」「福祉の仕事に関心がある」「社会福祉士に興味がある」「病院や介護施設で働きたい」と考えている高校生、その親御さんや教職員の方に、保健医療分野で働くソーシャルワーカーの正しい職業イメージをもってもらう講座です。 ソーシャルワークの共通基盤、保健医療分野における福祉的課題、医療ソーシャルワーカーの役割・業務等について、わかりやすくお話しします。